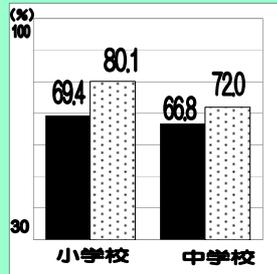


海田町の取組

学力調査の結果における特徴～小学校算数・中学校数学を中心に～

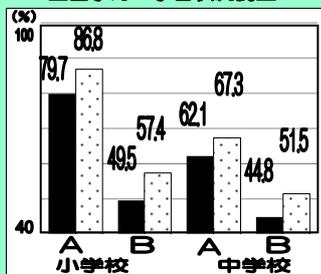
H28学力調査の結果(小学校算数・中学校数学)

「基礎・基本」定着状況調査



■ 広島県

全国学力・学習状況調査



□ 海田町

○「基礎・基本」定着状況調査、全国学力・学習状況調査の教科調査の結果について、小・中学校とともに算数・数学で県平均を上回っている。

小学校算数「基礎・基本」 +10.7P 全国 B +7.9P

中学校数学「基礎・基本」 +5.2P 全国 B +6.7P

○算数・数学に関する児童生徒質問紙調査の結果について「基礎・基本」定着状況調査 児童質問紙調査「教科学習への意識」の肯定的回答の割合

・「算数の授業では、とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。」

小学校 76.1% (県平均 +10.0P)

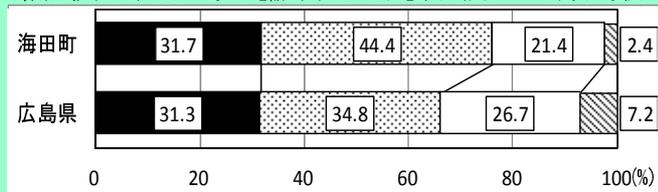
・「数学の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。」

中学校 64.1% (県平均 +3.3P)

H28「基礎・基本」定着状況調査(児童生徒質問紙調査)

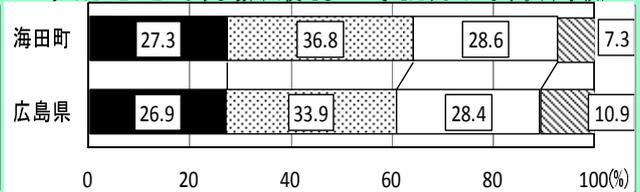
算数の授業では、とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。(小学校)

数学の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。(中学校)



■ よく当てはまる

□ やや当てはまる



□ あまり当てはまらない

■ 全く当てはまらない

教育委員会の取組

海田町「21世紀型能力育成総合対策事業」

◎単元に「課題発見・解決学習」を位置付けた授業づくりに町内両中学校区で取り組む。

- ・小中一貫教育による義務教育9年間を見据えた研究推進及び、教職員が主体的に企画・運営する研究推進委員会の実施
- ・「学びの変革」パイロット校、実践指定校を中心とした町内全小中学校による研究推進
- ・研究教科の拡充
- ・町費による学力推進リーダー配置の拡充
- ・町内高等学校教職員との研究授業等による連携

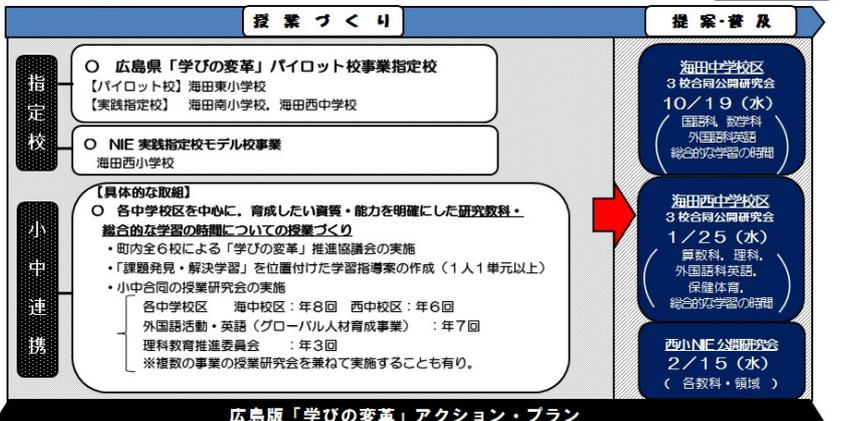
海田式アクション・リサーチ

◎年3回町内全教職員の授業を管理職とともに参観し、「課題発見・解決学習」の観点を中心とした指導・助言を行う。

- ・広島版「学びの変革」アクション・プランにつながる授業改善
- ・教職員個々の能力・適性等に応じた授業づくり、及び教科の特性に応じた実践及び検証

21世紀型能力育成総合対策事業

主体的に学ぶ児童生徒の育成
～「課題発見・解決学習」の授業づくりを通して～



広島版「学びの変革」アクション・プラン

学校の取組

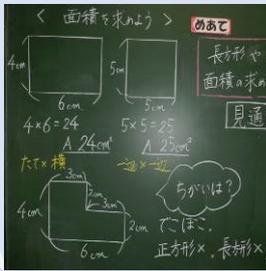
「算数科授業による思考力・表現力の育成」 海田町立海田小学校

児童から引き出したい言葉をイメージしながら授業を構成するとともに、言語活動の充実を図ることで、相互の学び合いによる思考力・表現力の育成をめざしています。児童が「解決したい」「理由を考えたい」「伝えたい」と思えるような授業にするための基本的なプロセスとして探求型授業に取り組んでいます。

課題発見・見直し

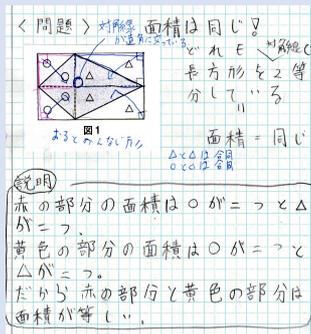
既習との違いや「ずれ」が感じられるようにして、課題と出会う。
 ・比較資料の提示
 ・既習事項の復習
 ・掲示物の活用
 ・生活の中にある課題

めあての共有化
 ↓
 見直しを持つ。



自力解決

思考を深め、表現力を高めるために理由を付けて話す。
 ・考えを明記する時間の確保
 ・式、図、表、グラフ、言葉等、複数の表現方法
 ・必要に応じたヒントカード



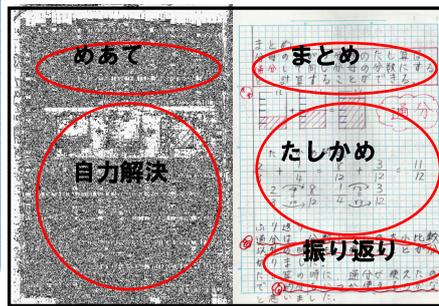
交流の場・まとめ

最適解を求めて議論する。
 ・ペアやグループ、全体で考えを交流
 ・複数意見の比較・分類
 →共通点・相違点
 ・意図的指名や構造的板書
 →関連付け
 ・切り返しや
 問いかけ
 →学びの深まり



たしかめ 振り返り

たしかめの問題を行い、付けた力がついたか確認する。考えが深まったか、生活や将来にどう生かすか等を視点にして振り返る。



「学びのサイクル」を意識した広がりのある学び ～「やればできる」から「もっとやってみたい」へ～

海田町立海田西中学校

実生活の中から学習課題を見付け、それを解決させる活動を仕組むことで、数学を学ぶ必然性をより強く感じさせ生徒の学習意欲を高める工夫を行っています。生徒が「もっとやってみたい」「挑戦したい」「考えたい」と思えるような授業づくりを目指し、主体的な学びへとつなげています。

課題との出合わせ方の工夫 ～学習の必然性を持たせるために～

【実践事例】

破損した体育祭で使う得点板を作り直すためには、どれだけの大きさの木材が必要だろうか？

【課題設定の POINT】

- ・生徒の経験・生活の中にあるもの・必要性があるもの
- ・既習を使って解けそうなもの・興味が持てるもの
- ・数学の有用性が分かるもの・やってみたくなるもの



解きたい！おもしろそうだ。

今まで学習したことの何が使えるのだろうか？

日常生活での課題

新たな挑戦

学びのサイクル

情報収集・整理分析

課題解決

できた！あれはどうだろ？



◎個人思考の時間をしっかり確保した後、小グループによる話し合いを行います。グループ内でのそれぞれの役割分担を確認し、スムーズかつ多様な意見の出るよう工夫しています。

平方根の考えを用いれば解決できるかも？

図を用いて説明すると分かりやすくなるね。

◎全体の場でグループの考えを共有します。その後、また個人に返すことで「学び合いをしてよかった」と思える振り返りを心がけています。

学びを生活につなげるための他の事例

活用につなげる

統計グラフコンクール

数学の活用場の意識の喚起
 表現力・思考力育成の場

学びをつなげる

文化発表会

より高い目標設定
 より良い学習イメージ

未来につなげる

こども議会

町づくりへの提言
 地域行事への参加

ベースとなる取組

○海田西中学校区の取組

・小学校と連携した課題発見・解決学習の単元開発、主体的な学びを引き出す学習課題の研究

○家庭学習ノート、学力定着週間等の日々の取組